

授業科目	* 初年次セミナー I				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	WE10201J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	木村 茂喜、杉谷 修一、新谷 恭明、杉本 有紗、金谷 めぐみ、納戸 美佐子、高口 恵美							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーI および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーI では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p> <p>※本科目の担当教員は 6 名だが、1 クラスあたり 2 名の教員が交代で担当する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。(DP3-1) 5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	(100)	(100)	(100)	(100)	100	
知識・理解 (DP1-1)			(60)	(60)	(60)	(60)	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			(20)	(20)	(20)	(20)	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			(20)	(20)	(20)	(20)	20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、他者と共同し学ぶ姿勢がみられる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:大学での学びとは(新谷恭明) ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	合同講義	特になし	0
2	テーマ:ガイダンス(福祉学科担当全教員・図書館職員) 初年次セミナーの進め方、文献の調べ方について解説する。	学科合同講義	特になし	0
3	テーマ:大学生と新聞(1)新聞の構成・記事の収集(担当教員1) 新聞の構成や図書館での新聞記事の収集方法について学ぶ。	演習・講義	振り返り・新聞記事の収集	30
4	テーマ:大学生と新聞(2)文章の要約(担当教員1) 新聞記事を用いて、文章を要約することについて学ぶ。	演習・講義	振り返り・新聞記事の収集	30
5	テーマ:大学生と新聞(3)記事を通じた理解(担当教員1) 新聞記事を通して、福祉・教育・保育に関する課題について理解を深める。	演習・講義	振り返り・新聞記事の収集	30
6	テーマ:大学生と新聞(4)記事の内容についての意見(担当教員1) 福祉・教育・保育に関する課題や取り組みについて調べ、記事の内容について意見を述べ合う。	演習	振り返り・新聞記事の収集	30
7	テーマ:大学生と新聞(5)新聞の作成(担当教員1) 各グループでテーマを決め、そのテーマに関する新聞を作成する。	演習	発表準備	60
8	テーマ:大学生と新聞(6)発表・新聞を読むことの意味(担当教員1) ・各グループが作成した新聞について発表する。 ・大学生にとっての新聞を読むことの意味や新聞の活用方法について学ぶ。	演習	振り返り	30
9	テーマ:専門書入門(1)対象への関心を高める(担当教員2) ・対象のイメージアップを図る。 ・テキスト批評を学ぶ。	演習	感想文の作成(手書き)	20
10	テーマ:専門書入門(2)内容を理解する(担当教員2) ・課題図書を読む(指定箇所)。 ・感想と意見を出し合う(グループワーク)。	演習	分からない語彙を調べる 「要約」の作成(PC)	60
11	テーマ:専門書入門(3)内容を検討する(担当教員2) ・課題図書を批判的に読む。 ・根拠を説明する。	演習	「問題の提起」「議論」の作成(手書き) 文献を図書館から借りる	60
12	テーマ:ブックレポートを書く(1)文献を利用する(担当教員2) 指定する学問領域の専門書を分析し、紹介する。	演習	「議論」の作成(手書き)	120
13	テーマ:ブックレポートを書く(2)意見と根拠を述べる(担当教員2) レポートの各部分を振り返り、レポートを全体としてまとめる。	演習	「目的の提示」「まとめ」を入れ、テキスト批評レポートを作成(PC)	120
14	テーマ:ブックレポートを書く(3)まとめる・評価する(担当教員2) ・自分のレポートを読む。 ・自分のレポートにコメントする。 ・振り返り	演習	特になし	0

15	テーマ:初年次セミナーIのまとめ(福祉学科全担当教員) 初年次セミナーIの内容について振り返るとともに、夏休み課題レポートについて説明する。	学科合同講義	特になし	0
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。			
テキスト	特に定めない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深める。グループ学習の利点を活かしながら、各自の積極的な参加を期待している。 初年次セミナーIでの学習内容の到達度を確認するため、夏季休業期間中に各自レポートを執筆し、提出すること。レポートのテーマ、書式、提出期限など、詳細については、第15回で説明する。なお、このレポートは初年次セミナーIIの成績評価に加える。			
達成度評価に関するコメント	評価の詳細については、各担当教員より説明する。			